

太陽光発電設備支持物の確認方法に関する研修

国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、産総研）再生可能エネルギー研究センター太陽光システムチームでは、福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金「太陽光発電のO&M等の技術開発・人材育成拠点の形成」事業の一環として、福島再生可能エネルギー研究所（以下、FREA）に設置されている太陽光発電設備を活用し、オペレーション&メンテナンスの技術開発および人材育成を行っております。

事業用太陽光発電設備の支持物（架台・基礎）の構造安全性に関する確認方法について、以下の要領で研修を実施します。希望者はふるってご参加ください。

※2022年11月29日（火）より、オンライン参加【座学（13:00～15:00）】の申込を追加しました。

○開催時期：2023年1月25日（水） 13:00～16:00（雨天決行）

○開催方式：現地開催【“座学”のみハイブリット（現地&オンライン（Microsoft Teams））】

現地：産総研 福島再生可能エネルギー研究所（FREA） FREA ホール
（福島県郡山市待池台 2-2-9）

○講師：一般社団法人 構造体力評価機構 理事 高森浩治 氏（外部講師）

○実施内容：

- ・座学：13:00～15:00 使用前自己確認方法：構造関係【ハイブリット開催】
- ・実技：15:00～16:00 目視確認ポイント 【現地開催】

○参加：無料

○募集人数：現地参加は、約20名。

オンライン参加は、約100名。

○参加資格：

福島県および近県に事業所／工場など関連がある企業、または福島県内の発電所においてメンテナンスの実績がある企業に所属している（企業の所在地は問わない）、以下に該当する者。

- ・電気工事士もしくは電気主任技術者の資格を有していること。
- ・太陽光発電設備の設計・施工・竣工検査・保守点検の経験があることが望ましい。
- ・今後、太陽光発電設備の設計・施工・竣工検査・保守点検事業を継続する意欲があること。

なお、参加者は福島県内で就業している方を優先いたしますが、その他の場所で就業している方の申し込みも受け付けます（人数次第でお断りすることがあることを予めご了承ください）。

○参加方法

下記のWEBフォームより申し込みください。

- ・説明会への参加登録フォーム：<https://forms.office.com/r/vhHj6nFTib>
- ・申し込み締め切り：2023年1月18日（水）17:00
- ・WEBフォームがご利用できない場合は、必要な情報を記載し、メールでお申し込みください。
 - － E-mail：M-FREA-pvsysat-om-ml@aist.go.jp
 - － 件名：太陽光発電設備支持物の確認方法に関する研修 参加
 - － 御氏名、御所属、電話番号、E-mail アドレス
- ・参加方法については、2023年1月20日（金）17:00にご連絡いたします。

その他お問い合わせ先：M-FREA-pvsysat-om-ml@aist.go.jp

講演者紹介

一般社団法人構造耐力評価機構 理事



高森 浩治 博士（工学）

大阪府生まれ。1986年（財）日本建築総合試験所に入所。20年以上にわたって建築物の風荷重・台風性能に関する研究に携わる。2016年より奥地建産（株）で太陽光発電の架台開発、地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドラインの策定を実施。2019年より（一社）構造耐力評価機構の理事に就任し、NEDOプロジェクトの太陽光発電関連の研究を継続し、傾斜地設置型・営農型・水上設置型の太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン 2021年版策定の中心的な役割を担う。その他、太陽光発電や建築関連の各種委員会、研究会に参画している。

使用前自己確認の概要

発電設備を設置後、使用前に事業者自ら技術基準適合性を確認することを目的としたものです。

現在、500kW～2000kW未満が対象ですが（2000kW以上は工事計画届と使用前自主検査が必要）、昨今の法改正により、10kW以上～2000kW未満の高圧配電線に連系する太陽光発電所のすべてに使用前確認制度による自己確認を求められるようになります。

ただし、今回の研修では、使用前自己確認のうち構造関係を主とした内容を予定しております。

参考：第27回 産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会 電力安全小委員会

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/hoan_shohi/denryoku_anken/pdf/027_01_00.pdf